

子どもたちを交通事故から守ろう！



青空教室

警察官、交通安全指導員、教員らに見守られ、学校周辺通学路の实地訓練を通し理解を深めた児童。横断歩道は「歩行者専用信号機を確認して左右前後を確かめて歩きましょう」。

ワッペン

新入学児童へのワッペン付け。ワッペンは損保、生保からの寄贈で交通事故傷害保険が付いています。戸田安彦町長、安藤尚志教育長らが「入学おめでとう。たくさん友達をつくってね」と一人ひとりに声を掛けながら付けました。

白老ライオンズクラブ（中村祐志会長）から町内4保育園に、交通安全を学ぶきっかけづくり「こぐまワッペン」の寄贈を受けました。



心温まるお守り



町商工会青年部（砂原弘幸部長）と女性部（熊谷あき子部長）から町内全新入学児童（69人）に、手作りの交通安全マスコット（お守り）の寄贈を受けました。「子どもたちの安心・安全のために心をこめて作りました」。

北海道日本ハムファイターズしらい後援会から町内全新入学児童にクリアファイル（69人分）など、有限会社「こんや」から新入学児童に自由帳（69人分）と新中学1年生にノート（96人分）の寄贈を受けました。「子どもたちのためにこれからも続けたい」。

勉強も頑張ってね



春のお目覚め



駅北観光インフォメーションセンター（若草町）隣接地に設置されている「SLポロト号」のシートが外されました。白老ライオンズクラブや観光協会、町職員ら約30人が声を掛け合いながら手早く作業を終えました。白老駅に停車したりリゾート列車「TRAIN SUITE四季島」の乗客の目を楽しませました。